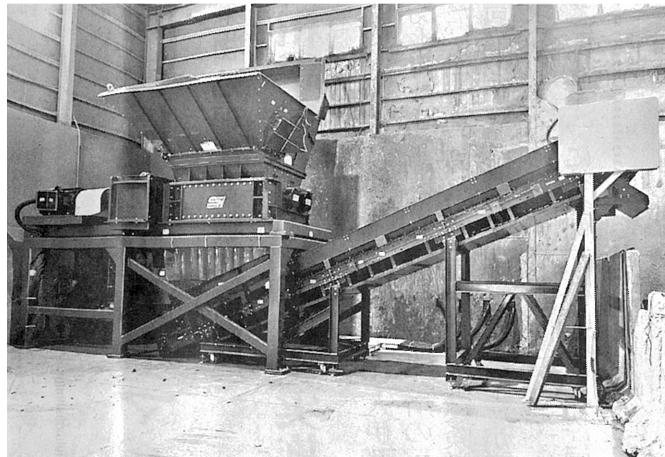


高野

強力二軸で処理困難物に対応

弥富営業所に続いて2台目の採用



導入したSSI製の二軸剪断式破碎機

高野(三重県桑名市、
高野泰宏社長、☎ 05
94・42・330
5)は1月初旬、四日
市営業所(三重県四日
市市)の破碎施設にS
SI製の二軸剪断式破
碎機を導入した。処理
能力を日量5t未満か
ら140tにまで伸ば
し、許可品目にゴムく
ずを加え計8品目に対
応。漁網や軟質プラ、
防舷材など多様な處理
困難物を短時間で破碎
でき、受入対象の拡大
や破碎業務の省人化に
もつなげた。

導入した二軸破碎機
「M140ED」は、
インバーター制御機能
付きの電動駆動破碎
機。インバーター制御
により、主軸が正転し
続けられるよう、副軸
の負荷を抑制する駆動
コントロールが可能と
なっている。200馬
力(149キワット)の電
動モータを2台備え、
計400馬力の性能を
持つ。同社弥富営業所
に続いて2台目の採用
で、メンテナンス時の
部品や稼働のノウハウ
などを共有し、円滑な
処理を実現する。

弥富営業所では導入
当初、ノーマルの破碎
刃を使っていたが、昨
年末に硬化刃に切り替
えた。新築系の受入物
の多い弥富営業所に比
べ、四日市営業所では
土木系の廃プラスチック
心に受けしており、同所
でも硬化刃を装着。從
来の5t未満の設備で
は、小割機で前処理し
1日かけて破碎してい
た処理困難物を短時間
で処理できるため、繁
忙期にもさまざまな品
目に対応可能とした。
自社もしくは系列会
社の解体で出る廃材の
他、四日市・弥富・鈴
鹿地域における港の護
岸工事で排出される防
舷材や、サーフィットか
ら排出される廃タイヤ
・衝撃吸収材なども受
け入れている。

コロナ禍において、
受け入れ先の業種を7
種類に分類し統計を出
したところ、同社担当
者は「リフォームが右
肩上がりの一方で、工
場系は右肩下がりの傾
向がみられた。ただ、
工場におけるメンテナ
ンスの件数が増加し
た。業種によって排出
量が伸びており、全体
をみれば大きく減少せ
ず、平行線をたどって
いる」との見通しを示
した。処理対象物を拡
大したことで、より一
層受け入れ先を増やし
ていく考えだ。

同社の高野社長は、
「排出先からの要望を
受け、さまざまな処理
困難物に対応するため
に導入した。今後も積
極的に設備投資を行
い、省力化による働き
方改革にも注力してい
きたい」と話した。